

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和5年12月

メリークリスマス🎄 早いもので年内最終号となりました。
12月、Newsletter 第69回配信です！ どうぞお楽しみください。

【診療科紹介 小児外科】

皆さん、こんにちは。今回は小児外科のご紹介をしたいと思います。

小児外科は「こども」の外科で、主に中学生以下の外科疾患を担当します。昨今、成人外科が臓器別に高い専門性を追及しているのに対して、小児外科は「子ども」に特化して様々な疾患を扱います。鼠経ヘルニア、虫垂炎、外傷、腫瘍、新生児外科（腸閉鎖、直腸肛門奇形、腹壁形成異常、嚢胞性肺疾患、他）など多岐にわたります。最近では小児領域でも鏡視下手術が普及しており、新しい技術の開発にも取り組んでいます。

小児の患者は具合が悪くなるのも早いですが、回復力も驚くもので、大きな手術でも数日後には飛び跳ねて遊んでいたります。幼くても治療して元気になったのが理解できるように、われわれ医療者とも結構仲良くしてくれ、彼らの笑顔にはこちらの方が癒されます。また幼少期に手術した患者さんが成長していく姿を外来でフォローできるのは嬉しいものです。

少子化によって小児外科全体の患者数が減少傾向であるのは確かですが、近年は専門性を求めて大きな病院に集約化される傾向にあります。自治医科大学の小児外科は、とちぎ子ども医療センターという大学併設型の子ども病院の中にあり、成人外科や他の小児診療科と連携することが容易であることと大学ならではの教育面の充実が特徴で、周産期医療や三次救急まで幅広く対応できます。

新専門医制度では小児外科は外科専門医のサブスペシャリティ領域です。小児外科専門医や指導医になるまで少し時間がかかりますが、子ども達の将来に関わる、やりがいのある分野です。短時間の手術も多く、外科なのでオンとオフの切り替えが明瞭で、肉体的な負担は案外少ないと思います。活躍している女性医師が多い外科分野でもあります。興味を持たれた方は、ぜひ実際に見に来ていただきたいと思います。

【問い合わせ先】

自治医科大学 小児外科

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

電話：0285-58-7371 (医局)

E-mail：ped-surgery@jichi.ac.jp (医局)

【医師国家試験予想問題】

1. 肥厚性幽門狭窄症について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 先天性疾患である。
- b 女児に多い。
- c 非胆汁性嘔吐がみられる。
- d 呼吸性アルカローシスを認める。
- e Ramstedt 手術が有効である。

正解：c, e

解説：肥厚性幽門狭窄症は生後 2 週から 2 か月頃に発症し、幽門筋が肥厚して徐々に非胆汁性の嘔吐が悪化し、噴水状嘔吐をきたすようになります。5:1 で男児に多いのが特徴です。頻回に胃液を嘔吐するため脱水と低クロール性代謝性アルカローシスが特徴な検査所見とされ、初期治療は輸液による脱水と電解質の補正が中心となります。治療は内科的治療として硫酸アトロピン療法、外科治療として粘膜外幽門筋切開術（Ramstedt 手術）があります。予後良好な疾患ですが、適切に診断と治療がなされないと重篤な状態に陥る可能性もあります。

2. 生後 18 時間の新生児。在胎 39 週 2 日、体重 2,890 g で出生した。胎児超音波検査では異常を指摘されていない。出生後に肛門計を挿入できず会陰部の異常に気付かれ、胃管挿入後に搬送された。心拍数 132/分、整。呼吸数 40/分。腹部は軽度膨満、軟、肝・脾を触知しない。嘔吐はみられず、尿道口から胎便が排出された。会陰部の写真を示す。

新生児期に行う対応として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 上部消化管造影
- b 腹部超音波
- c Hutchinson 手術
- d 人工肛門造設術
- e 仙骨会陰式肛門形成術



正解：b, d

解説：直腸肛門奇形（鎖肛）の男児です。尿道から胎便が排泄されたことから中間位あるいは高位と考えられます。腹部超音波は直腸尿道瘻や腎泌尿器合併症の確認に有用です。生後 12 時間以上経過してから倒立位エックス線撮影を行い、直腸盲端の位置をガス像で確認して病型分類します。上部消化管造影は直腸肛門奇形（鎖肛）の診断に有用ではなく、とくに人工肛門造設術前は腸閉塞の状態であるため胃管による消化管の減圧を行います。中間位あるいは高位の場合は、生後数日以内に人工肛門造設術を施行し、体重が増加してから乳児期の後半で肛門形成術を施行するのが一般的です。